



答 申 書

令和6年2月20日

苫小牧市特別職議員報酬等審議会

令和6年2月20日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

苫小牧市特別職議員報酬等審議会

会 長 北 條 康 夫

市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額について（答申）

令和6年1月23日付け苫行監第11号で諮問のありましたこのことについて、
審議した結果、別紙のとおり答申いたします。

答 申

- 1 市長、副市長、教育長及び常勤監査委員の給料月額並びに議会の議員の議員報酬月額については、次のとおり改定することが適当である。

	現行額	改定額	引上額	引上率	平均引上率
市長	980,000 円	1,000,000 円	20,000 円	2.04%	2.44%
副市長	800,000 円	820,000 円	20,000 円	2.50%	
教育長	680,000 円	700,000 円	20,000 円	2.94%	
常勤 監査委員	635,000 円	650,000 円	15,000 円	2.36%	
議長	520,000 円	560,000 円	40,000 円	7.69%	6.83%
副議長	480,000 円	510,000 円	30,000 円	6.25%	
議員	440,000 円	470,000 円	30,000 円	6.82%	

- 2 改定の時期は、令和6年4月1日とすることが適当である。

- 3 答申に至った経緯

苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例（昭和29年条例第9号）

別表第1号に規定する市長等の給料額及び別表第2号に規定する議会の議員の議員報酬額の見直しについて諮問を受けた本審議会は、最近の経済

情勢及び景気の動向はもとより、一般職の給与改定状況並びに道内各市の市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額との比較など、主に次の観点
が中心となる活発な意見交換と慎重な審議を行ってきた。

(1) 現行の給料額及び議員報酬額は、平成5年12月の改定時から実に
30年間据置きのみであり、この間、一般職の給料額にあつては、
平均3.89%引き上げられていること。

(2) 現行の給料額及び議員報酬額が、人口及び財政規模など様々な観点
で本市に近似している道内他都市と比較すると依然として較差が
生じていること。

(3) 本市を取り巻く社会経済情勢としては、急激な物価の高騰や賃金
引き上げの動きによる影響が今後も続くものと見込まれること。

(4) 議員報酬額の引き上げは、今後、市議会議員を目指す志の高い人材
の確保につながり得る措置であること。

審議の結果、市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額については、
本市の財政状況等を鑑み、その重要な職務、職責に応じたものとすべきで
あるとともに、道内主要都市との較差縮小に配慮するほか、この30年間

における、議員定数の縮減をはじめとした議会改革に伴う財政負担の削減などの経過も考慮し、このたび改定することが適当であるとの結論に達したものである。

4 適用期間

第1項については、今後の社会経済情勢、財政事情及び一般職の給与改定、更には道内の主要都市の動向などを充分に見極めていく必要があることから、適用期間を定めないことが適当である。

5 付帯意見

本答申に当たり、今後の人口や市税収入の減少などを見据え、市議会議員の定数の更なる適正化による財政負担の削減や議員活動の在り方など改善すべき点について、より一層の議会改革推進を求める複数の意見があったことを申し添える。

苫小牧市特別職議員報酬等審議会審議経過

第1回審議会

令和6年1月23日（火） 午後1時30分

苫小牧市役所9階 第2委員会室

- 会議内容
- 1 委嘱状交付
 - 2 市長職務代理者挨拶
 - 3 委員・事務局紹介
 - 4 会長・会長代理選出
 - 5 諮問（市長等の給料額及び議会の議員の議員報酬額について）
 - 6 審議

第2回審議会

令和6年2月7日（水） 午後1時30分

苫小牧市役所9階 第2委員会室

- 会議内容
- 1 審議

第3回審議会

令和6年2月20日（火） 午前10時00分

苫小牧市役所5階 第1応接室

- 会議内容
- 1 市長へ答申書提出